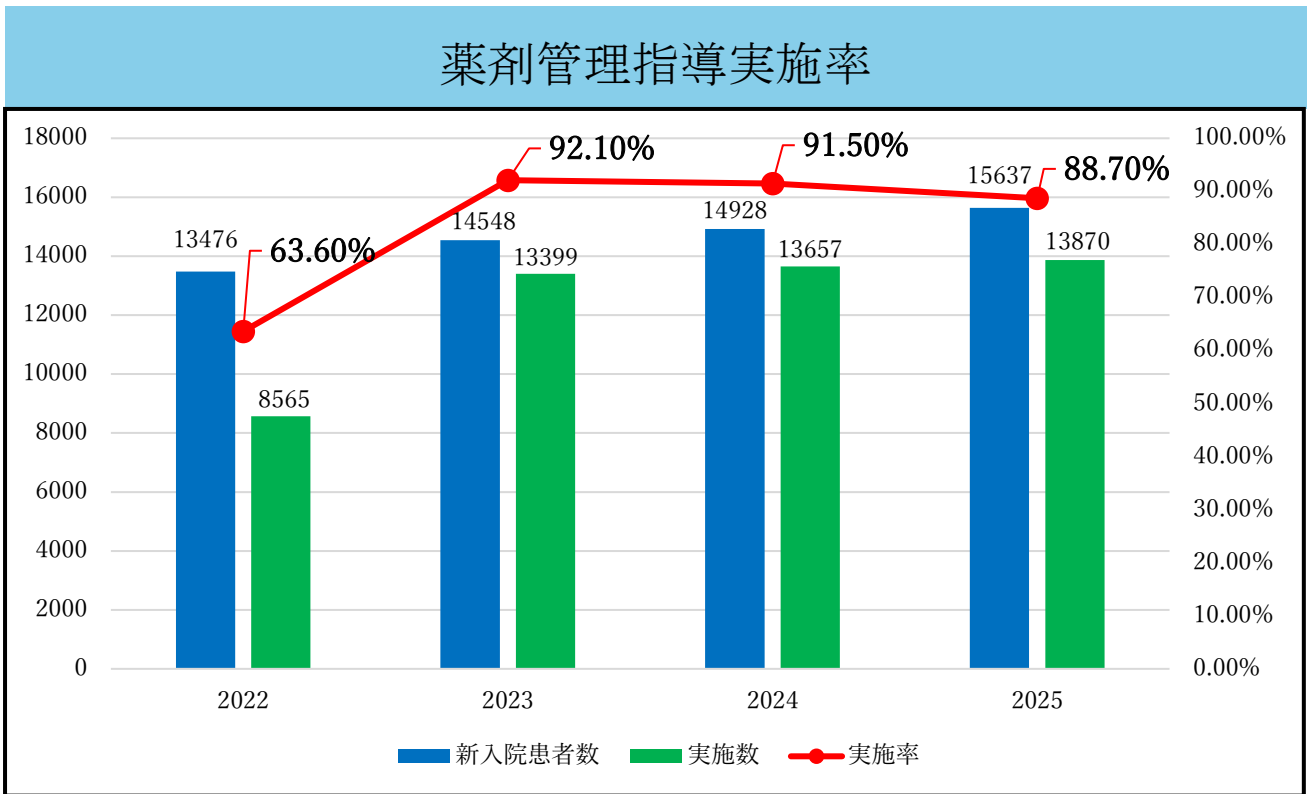


12. 薬剤管理指導実施率



➤ 指標の説明

薬剤管理指導実施率は、入院患者さんが薬剤に関する適切な指導を受けているかを測定するクオリティ・インディケータです。この指標は、薬剤師による患者への教育や相談の提供頻度を示し、医薬品の安全な使用、効果的な治療成果の達成、副作用や薬剤相互作用のリスク低減に寄与します。薬剤管理指導を受けた患者さんは、治療計画における自己管理能力が向上し、治療アドヒアランス（服薬遵守）が改善されるため、患者の安全と治療の質の向上に直接関連しています。

➤ 定義

【薬剤管理指導実施率】

分子：薬剤管理指導を受けた患者数

分母：新入院患者数

➤ 評価

日本病院協会の報告によると、薬剤管理指導実施率の全国平均は76.4%である（2024年度報告）。当院では、薬剤師による患者の安全性および治療効果の向上を目的に、2023年より薬剤管理指導実施率の改善に取り組んだ。これまでマンパワー不足により十分な指導が行えない状況があったが、臨床薬剤師業務の標準化や職員間の協力体制の見直しを進め、臨床業務時間の確保を図った。2023年以降、薬剤管理指導実施率90%を目標に高い水準を維持している。